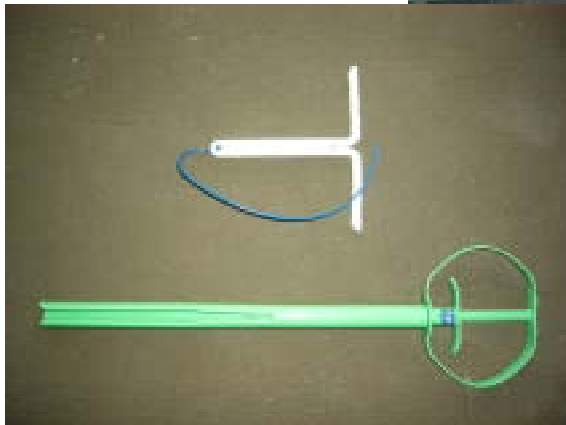


# 平成17年10月 試験研究業務月報



卵巢の反応卵胞数を超音波診断

雌牛の膣内に挿入、留置する

黄体ホルモン製剤とアプリケーター

課題名 受精卵採取技術を利用した優良和牛の効率的活用

## 要 旨

当場の和牛雌7頭に、黄体ホルモン製剤を利用して、分娩後55日目と83日目の2回受精卵を採取したところ、平均20個の正常胚を採取することができました。受胎までの日数は早い牛で98日となり、通常分娩・受胎とかわりなく、改良をより早く進める技術として期待できます。

京都府畜産技術センター  
( 碓高原牧場 )